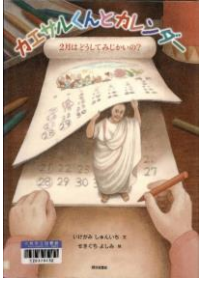


カエサルくんとカレンダー

2月はどうしてみじかいの？



いけがみしゅんいち／文
せきぐちよしみ／絵
福音館書店
EL/カ

ていがくねんむ
低学年向け

今年^{ことし}は4年^{ねん}に一度^{いちど}の「うるう年^{うるうねん}」で、2月^{がつ}が29日^{にち}までありますね。毎年^{まいとし}2月^{ふたつき}は^{みじかい}どうして短い^{みじかい}の？うるう年^{うるうねん}のひみつとは？月^{つき}によって30日^{さんじゅうにち}だったり31日^{さんじゅういちにち}だったりするのはどうして？今の^{いま}カレンダー^{カレンダー}のもととなる^{もと}アイデア^{アイデア}をうみだした、ローマ^{ローマ}の将軍^{しょうぐん}カエサル^{カエサル}くんが、カレンダー^{カレンダー}のひみつを^{おし}教えて^{たの}くれる^{いっさつ}楽しい^{いっさつ}一冊^{いっさつ}です。

なんにもおきないまほうのいちにち

ベアトリーチェ・アレマーニヤ／作
関口英子／訳
ポリフォニープレス
EL/ナ



主人公^{しゅじんこう}はいつもゲーム^{ゲーム}に夢中^{むちゅう}で片時も手離^{かたとき}すことができない^{てばな}男の子^{おとこ}。そんな様子^{ようす}を見かねた^みママにゲーム機^{ゲームき}を取り上げられて^としまいます。仕方なく^{しかた}、出かけた^で外の^{そと}世界^{せかい}で見つけた^みものは――。自然^{しぜん}の中で、言葉^{ことば}では説明^{せつめい}しつくせない、不思議^{ふしぎ}をいっぱい^{いっぱい}発見^{はっけん}した男の子^{おとこ}。心^{こころ}躍^{おど}るような瞬間^{しゅんかん}を捉えた^{とら}作品^{さく品}です。

大人も知らない？ふしぎ現象事典



「ふしぎ現象」研究会／編
ヨシタケシンスケ／イラスト
マイクロマガジン社
049

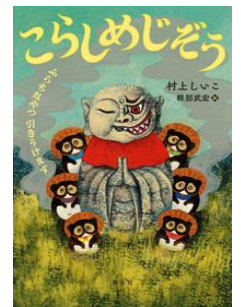
ちゅうがくねんむ
中学年向け

同じ^{おな}アニメが好きな^す友だち^{とも}とはすぐに仲良^{なかよ}くなれる、みんながもっている^もゲームは自分^{じぶん}もほしくなる……。こういっただれにでもよくある^{よくある}現象^{げんしょう}には、ちゃん^{なまえ}と名前^{なまえ}がついています。この本^{ほん}は、そんな「あるある^{あるある}現象^{げんしょう}」についてわかりやすく^{わかりやすく}解説^{かいせつ}してくれる^{たの}楽しい^{いっさつ}一冊^{いっさつ}です。

こらしめじぞう

ふらちなやつ ひきうけます

村上しいこ／著
軽部武宏／絵
静山社
913/ムシ



こらしめたいと願^{ねが}う相手^{あいて}の名前^{なまえ}を唱^{とな}えるだけで、こらしめてくれるという「こらしめじぞう」。4年2組^{よねんにき}の依央里^{いおり}、政志^{まさし}、真結^{まゆ}の3人も、それぞれこらしめたい人^{ひと}の名^なを唱^{とな}えます。ところが、一見^{いっけん}、願^{ねが}いが叶^つったように思^{おも}えたのも束^{つか}の間^{かん}、こらしめはだんだんエスカレート^{エスカレート}していき……。背筋^{せすじ}がヒヤリとするような、ちょっぴり^{ちょっぴり}こわい物語^{ものがたり}です。

人類の物語

ヒトはこうして地球の支配者になった



ユヴァル・ノア・ハラリ／著
リカル・ザプラナ・ルイズ／絵
西田美緒子／訳
河出書房新社
209

こうがくねんむ
高学年向け

わたしたち人間^{にんげん}は、ライオン^{ライオン}みたいにする^{する}どい^{どい}牙^{きば}もないし、魚^{うみ}みたいに海^{うみ}をどこまでも泳^{およ}いだり、鳥^{とり}みたいに空^{そら}を飛^とんだりすることもできません。それでも、この地球^{ちきゅう}上の^{うへ}どんな生きもの^{いきもの}にも負^まげない^負すばらしい^{すばらしい}能力^{のうりよく}を持^もっています。そんなわたしたち人類^{にんげん}の、「そもそも、人類^{にんげん}って何^{なに}だろう？」というところからはじまる、驚^{おどろ}きの歴史^{れきし}物語^{ものがたり}です。

雪の日にライオンを見に行く

志津栄子／作
くまおり純／絵
講談社
913/シエ



大阪^{おさか}で暮^くらす小学^{しょうがく}5年生^{ごねんせい}の唯人^{ただひと}。近所^{きんじよ}には兄弟^{どうぜん}同然^{どうぜん}に育^{そだ}った従^{いとこ}兄弟^{ちゅうぎょう}や中国^{ちゅうごく}残留^{ざんりゅう}孤^こ児^にだった祖^そ父^ふもいますが、父^{ちち}は唯人^{ただひと}が幼^{おさない}い頃^{ころ}に中国^{ちゅうごく}に帰^{かえ}国^{こく}したま^まま行^ゆ方^{かた}がわかりません。父^{ちち}に対する^{たいしゆ}複雑^{ふくざつ}な思^{おも}いを抱^{かか}えながら、自分^{じぶん}は何^{なに}者^{もの}かを模^も索^{さく}する唯人^{ただひと}。母^{はは}や友人^{ゆうじん}との関^{かか}わりを通^{とお}して、少^{すこ}しずつ^{ずつ}変^{へん}化^かして^{して}いく様^{よう}子^すが描^{えが}かれます。